

## (2) 工業に関する学科

工業に関する学科を設置している県立高校は6校であり、「一人ひとりの個性が輝く、ふくいのものづくりの未来を担う人づくり」を目指している。

特徴ある取組みとしては、工業高校の魅力発信とプログラムの働きやプログラミングの楽しさを小学生に伝えることを目的とした「小高連携プログラミング教室事業」がある。この事業において高校生の指導によるプログラミング教室を各工業高校で開催し、地元小学生と交流を深めている。また、工業高校の地域貢献と小中学生のNIE普及を目的として、各工業高校生が地元小中学校へ新聞の書見台を製作し、寄贈している。

福井県立科学技術高等学校では令和2年度から、文部科学省の「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」の研究指定校として、地域の関係機関等と協働して企画・提案・設計・製造等を行う「科技ラボ」をとおした地域とのつながりや人とのつながりの構築と、変化する社会に適応し、地域産業を牽引する技術者の育成を目指している。



## (3) 商業に関する学科

商業に関する学科を設置している県立高校は6校（単独校1校、他学科との併設校5校）である。

福井商業高校は、県内唯一の商業単独校であり、文武両道を掲げている。国際経済科では、2年次に海外語学研修を実施しており、流通経済科では地元企業と連携して福井県名産の眼鏡の企画・製造・販売を行っている。卒業生は経済界のみならず様々な分野で幅広く活躍しており、幅広い教養と高度な専門技能を身につけた人材の育成をしている。

武生商工高校は、旧武生商業高校と旧武生工業高校が令和2年に統合した新しい学校である。平成2年から旧武生商業で始まった武商工デパートは、全校生徒が参加して生徒自身が実際にデパート経営を行う販売実習であり、毎年多くの来場者がある。地域の企業や大学などと連携した実践的教育やそれぞれの分野における高度な資格取得の推進など、職業教育カリキュラムを充実し、地域の未来を託せる人材＝地域の財産となる「心ある人材」の育成を目指している。

商業科・情報経理科を設置する敦賀高校は、商業学校から始まった学校であり、100年以上の歴史と伝統がある。地域と連携したネットショッピングモールの運営やプログラミング教育などの情報教育を通して、地域社会で活躍できる人材を輩出している。





#### (4) 水産に関する学科

水産に関する学科を設置している県立高校は1校である。旧小浜水産高校の閉校に伴い、平成25年より、福井県立若狭高等学校に普通科との併設校として海洋科学科が新設された。

旧小浜水産高校時代から続いている宇宙食サバ缶に関する研究は、生徒が引き継いで研究を行い、平成30年度に宇宙日本食認証を受け、令和2年度には念願の宇宙へ飛び立つまでに成果を収めた。この研究を代表するように、若狭高校では、普通科を含めて探究活動が活発に行われている。また、令和3年度からは、文部科学省の「マイスターハイスクール事業」の研究指定校として、水産業界や大学と同期化し、革新し続ける社会に対応しながら地域水産業の持続的な成長を牽引する人材育成を目指している。この令和3年度に7代目となる新小型実習船「雲龍丸」が竣工した。水中ドローンや環境観測機器を備える、最先端の実習船となっている。スマート水産業の推進と担い手育成のため、先進的な水産教育に取り組んでいる。



#### (5) 家庭に関する学科

家庭に関する学科を設置している県立高校は3校（他学科との併設校3校）である。

美方高校は、県内県立高校で唯一、厚生労働省の認可を受けた調理師養成施設である。洋菓子、和菓子、日本料理、製パンなどのプロの講師による直接指導や地域施設と協力した、実践活動を積極的に取り入れ、食のエキスパートの養成を目指している。

奥越明成高校では、食物、被服、保育、消費生活など専門的な知識・技術を学ぶ機会を設けるとともに、地域へ学習成果を披露する機会を設け、地域と共に成長することを目指した取り組みを行っている。特徴ある取り組みとして、平成29年度から、県内サービスエリアに生徒が開発したレシピを提供している。県内食材をメインとし、連携企業が販売したメニューは県内外の利用者に好評を得ている。その他、地元「道の駅」で提供されるフードメニューの開発など、地域連携を軸に、生徒主体の深い学びの実現に力を入れている。

坂井高校では食物、被服、保育の基礎から専門的内容の学習を軸に、生活産業で活躍する人材の育成を目指している。特徴的な取り組みとしては、生徒が衣装作成から企画運営まで担当して実施するファッションショーや、地元の坂井市と連携して、福井の新ブランド「ふくい甘えび」の推進と地域活性目的としたレシピ開発を行っている。



## (6) 福祉に関する学科

福祉に関する学科を設置している県立高校は1校である。

県立高校唯一の介護福祉士養成施設である奥越明成高校では、福祉に関する知識や技術の習得や、福祉職として必要な態度を育成し、3年間で介護福祉士の国家資格取得を目指している。校内実習では生徒同士で介護する側、される側それぞれを担当し、介護技術や声かけの方法について協働体験をとおして学習している。実習では、特殊浴槽を使用した実習や医療的ケアに関する実習など様々であり、施設実習では、日常生活の支援はもちろんレクリエーション活動、介護が必要な方の生きる意欲を引き出すための介護計画の作成・実施にも取り組んでいる。

## おわりに

福井県では令和5年度、全国産業教育フェア福井大会の開催を予定している。福井県の職業に関する専門学科のすべてが連携を深め、生徒が主語となる大会を目指したい。また、今後も地域の産業や社会を担う人材育成に加え、産業教育の充実に努めていきたい。